

あるて室内管弦楽団

長昌寺コンサート2026 # 1

A. ヴィヴァルディ

合奏協奏曲集《調和の靈感（衝動）》より

- 第 6 番 ヴァイオリン協奏曲 イ短調
- 第 2 番 2本のヴァイオリンの為の協奏曲 ト短調
- 第 8 番 2本のヴァイオリンの為の協奏曲 イ短調
- 第10番 4本のヴァイオリンの為の協奏曲 口短調

合奏協奏曲集《和声と創意の試み（四季）》より

- 第 2 番 ヴァイオリン協奏曲 ト短調（夏）
- 第 4 番 ヴァイオリン協奏曲 ヘ短調（冬）

※全て作曲当時のオリジナル編成による
各曲のソリストは当日発表します

主催：あるて室内楽協会

ヴァイオリン：鈴木 星彦 山本 伸子
小杉 結 船山 嘉秋 青木 まや

ヴィオラ：加藤 由貴夫 阿部 哲

チェロ：齋藤 章一

コントラバス：樋口 誠

指揮・チェンバロ：林 祐秀

4/26 日

14:30 開演 / 14:00 開場

長昌寺 ● みどり市笠懸町西鹿田846

2,000円（要予約）

ご予約・お問合せ Tel 0277-76-3636 / Fax 0277-76-3634





あるて室内管弦楽団

あるて室内管弦楽団は1976年管楽器を含むプロの室内オーケストラとして結成される。室内オーケストラとは17～18世紀を中心に宮殿や教会で小編成で演奏したことに由来する。時代と共にオーケストラが大編成化されるなかヴィヴァルディ・バッハ・モーツァルトの時代に近い編成で演奏したいという欲求が20世紀半ばに起り、盛んに結成されるようになった。あるて室内管弦楽団もこうした意識から室内オーケストラとして、これまで70回以上の自主企画公演をはじめ地方公演やオペラ公演・録音活動を行う。現在の指揮は創立メンバーの一人、林祐秀。

今回の出演者（あるて室内管弦楽団以外の活動）



Violin

鈴木 星彦

東京藝術大学卒業。同大学在学中、久和田緑弦楽四重奏団のメンバーを努める。ウィーン国立音楽大学に留学。ウィーン市芸術週間に於いてリサイタル。室内楽に於いて受賞多数。文化庁派遣による海外公演多数。他コンサートマスターとして各地のオーケストラに客演。

山本 伸子

東京藝術大学卒業。同大学院修了。伊・ローマ・サンタチェチリア・アカデミア修了。シエナ音楽祭で奨学金を得て参加。伊・タラント室内楽コンクール2位。帰国後は室内楽、オーケストラ等の他茨城県立取手松陽高校音楽科講師。

小杉 結

東京藝術大学附属高校を経て東京藝術大学卒業。同大学院修了。ギリシア・パトラスヤングソリスト国際音楽コンクール第3位入賞。現在東京藝術大学・尚美学園大学音楽表現学科講師。藝大フィルハーモニア管弦楽団在籍。

船山 嘉秋

東京藝術大学卒業。千葉交響楽団に首席として入団。アフィニス文化財団の奨学金を得てウィーン音楽大学に2年間留学。帰国後神奈川フィル入団、2024年まで在籍。現在はフリー奏者として活動。

青木 まや

ウィーンコンサルヴァトリウム音楽大学、ウィーン国立音楽大学留学。帰国後東京シティーフィルを経て室内楽や後進の指導を行っている。

Viola

加藤 由貴夫

東京藝術大学卒業。新日本フィルハーモニー交響楽団、東京ゾリステンを経て現在アレクテ室内管弦楽団・東京スカイラインオーケストラ他、様々なオーケストラの客演首席奏者等で活動。

阿部 哲

東京藝術大学卒業、同大学院修了。藝大フィルハーモニア管弦楽団ヴィオラ奏者。室内楽演奏を積極的に取り組む他、在京オーケストラを中心に客演奏者として活動している。

Cello

齋藤 章一

東京藝術大学卒業。同大学院修了。約20年間東京ニューシティー管弦楽団首席チェロ奏者を努めた後、東京シティーフィル、大阪センチュリー響、広島響、山形響等で客演首席チェロ奏者として参加の他、北鎌倉女子学園音楽科、聖徳学園音楽科講師を歴任。

Contrabass

樋口 誠

エリザベト音楽大学にて長谷川悟、L・シュトライヒャー、F・ペトラッキ各氏のコントラバスのレッスンを受講。新星日響に入団。1996年、2003年リサイタル開催。1999年より読売日響に移籍して現在に至る。

Conductor・Cembalo

林 祐秀

声楽科出身。オペラの出演の他 歌曲等のリサイタル6回開催。あるて室内管弦楽団の創立に関わった経緯から自主公演の殆どを指揮する。他に天台宗長昌寺住職。